

外国語科学習指導案

日 時：

学 校 名：

展開学級：

授 業 者：

1 単元名 PROGRAM 5 The Story of Chocolate (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

2 単元の目標

- (1) 関係代名詞主格 (who, which, that) の意味や働きを理解する。 [知識] 【知識及び技能】
- (2) 関係代名詞主格 (who, which, that) の意味や働きの理解をもとに、詳しく説明された人物やものの、場所について、聞き取ったり書いたりする技能を身に付ける。 [技能] 【知識及び技能】
- (3) チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点をとらえ、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書き表す。また、自分の好きな人物やものについて友だちに伝えるために、簡単な語句や文を用いて書き表す。
【思考力、判断力、表現力等】
- (4) チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点をとらえ、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書き表そうとする。また、自分の好きな人物やものについて友だちに伝えるために、簡単な語句や文を用いて書き表そうとする。
【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

本単元では、学習指導要領外国語第2節英語の目標(5)「書くことイ「日常的な話題について、事実や自分の考え気持ちなど整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。」に重点を置いて活動を行う。その1つとして、チョコレートの歴史やフェアトレードについて書かれた教科書本文を読んで、その内容を接続詞やつなぎ言葉を用いて短い文章にまとめる(Retell)。具体的には、生徒個々で内容をまとめた後に、グループになって英文を読み合い確認したりアドバイスしたりする。さらに、まとめの活動として、自分の好きな人物やものなどについて詳しく紹介する活動を取り入れ、読み手にわかりやすくまとまりのある文章を書くことをねらいとする。また、関係代名詞主格を導入する際、前課で学習した後置修飾(現在分詞・過去分詞)を振り返らせ、それを手がかりとして生徒自らが考え、理解を深めることができるようにしたい。さらに、関係代名詞主格を使うような場面を設定した言語活動を取り入れて、基礎・基本の定着を図っていきたいと考えている。

<CAN-DO リスト形式による学習到達目標との関わり>

本校の CAN-DO リストでは、3 学年の「書くこと」において「自分の主張や気持ち、事実を読み手に正しく伝わるよう、一貫性のある論理的な文章を書くこと」を目標としており、CAN-DO リストを提示することで生徒が本単元の活動に意欲的に取り組めるようにしたい。特に、Retell は本文の内容をしっかりと理解することが活動の基本となるため、本文を読む際、丁寧に指導を進めていきたい。また、自分の好きな人物やものを紹介する英作文の指導では、ワークシートに段落の構成を示し、生徒が順を追って書き進められるよう工夫をしていきたい。

4 生徒の実態

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 関係代名詞主格（who, which, that）の意味や働きを理解している。 〈技能〉 関係代名詞主格（who, which, that）の意味や働きの理解をもとに、詳しく説明された人物やもの、場所について、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。	チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点をとらえ、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書き表している。また、自分の好きな人物やものについて友だちに伝えるために、簡単な語句や文を用いて書き表している。	チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点をとらえ、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書き表そうとしている。また、自分の好きな人物やものについて友だちに伝えるために、簡単な語句や文を用いて書き表そうとしている。

6 指導と評価の計画（1／3）

時	学習内容	知	思	主	評価方法
1	○関係代名詞主格(who)の用法を理解し、自分の友達の説明をする。	○			記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に把握し、指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。
2	○関係代名詞(which/ that)の用法を理解し、身近なものの説明をする。	○			
3	○Think1 の新出語句を確認し、動画を見ながら本文を聞く。 ○本文に関する質問に答え、内容理解を深める。 ○本文の音読練習を行う。	○			
4	○Think2 の新出語句を確認し、動画を見ながら本文を聞く。 ○本文に関する質問に答え、内容理解を深める。 ○本文の音読練習を行う。	○			
5	○Think3 の新出語句を確認し、動画を見ながら本文を聞く。 ○本文に関する質問に答え、内容理解を深める。 ○本文の音読練習を行う。	○			
6	○Think1～3 の教科書の問いに答える。（英問英答） ○音読練習を行う。	○			
7 （本時）	○ノートを見ながら、Think1～3 の内容を振り返る。 ○Think1～3の中から1つ選び、要約する(Retell)。 ○自分が書いた Retell をグループで読み合い、互いに確認・アドバイスをする。 ○Retell を完成させ、暗記する。		○	○	・ワークシート
8	○自分の好きな人物やものを取り上げ、内容を考える。		○	○	・ワークシート
9	○自分の好きな人物やものについて書く。				

10	○Retell の口頭テストを行う。 ○本課で学習した内容を振り返りカードにまとめる。		○	○	・ パフォーマンステスト
11	○自分が書いた英作文を発表する。		○	○	・ パフォーマンステスト
後日	○単語テスト ○ペーパーテスト	○			・ ペーパーテスト

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点をとらえ、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書き表す。

【思考・判断・表現】

- ・ チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点をとらえ、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書き表そうとする。
- 【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 本時の展開

過程	学習活動と内容	指導上の留意点 ・ 支援 ◇評価の観点
挨拶 (2)	○始業のあいさつ ・ 英語で簡単なあいさつややり取りをする。	・ 明るく挨拶をし、楽しい雰囲気を作る。
導入 (10)	○Think1～3 の内容を確認する。 ○Think1～3 を音読する。	・ ノートを見ながら、内容を思い出させ、後に Retell を作成する際に活用できるようにする。 ・ 自分の Retell を発表する際、読めない単語がないようにする。
展開 (10)	チョコレートの歴史やフェアトレードについて簡単にわかりやすく説明しよう。 ○Think1～3の中から1つ選んで要約する(Retell)。【ワークシート】	・ 書けていない生徒にはノートを見るように促し、内容として最低限必要な英文を選ばせる。
(18)	○自分が書いた Retell を読み合う。 ・ 3～5人のグループを作る。 ・ 互いに確認やアドバイスをする。	・ 同じものを選んだ生徒どうしで3～5人のグループを作る。その際、なるべく英語を得意とする生徒が各グループに配置されるよう教師が生徒を組み合わせる。 ・ 互いの Retell を聞いてよいところを取り入れたり、内容にまとまりを持たせるための工夫をグループで考えたりするよう促す。 ・ 教師だけでなく友達と互いに教え合うよう促し、机間指導をしながら適宜スローラーナーを支援する。

まとめ (5)	○自分が書いた Retell を見直す。 ・内容を整理して、Retell を完成させる。	◇チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点をとらえ、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書き表している。 【思考・判断・表現】 ◇チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点をとらえ、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書き表そうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】
終末	○終業のあいさつ ・口頭テストに向けて、Retell した内容を暗記することを伝える。	・使っている文法や単語等が合っているか心配な生徒には、Retell の口頭テスト時に教師がワークシートを確認する旨を伝える。

(3) 本時の評価

- ・チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点をとらえ、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書き表している。
【思考・判断・表現】
- ・チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点をとらえ、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書き表そうとしている。
【主体的に学習に取り組む態度】

☆Retell ルーブリック（内容）

S	「つなぎ言葉」を使うなど工夫してわかりやすく、簡潔にまとめられている。
A	必要な情報が含まれているが、わかりやすさや簡潔さがあとひといき。
B	必要な情報が十分ではないが、ほぼ概要が伝えられている。
C	Bに達していない。

☆Retell ルーブリック（発話）

S	すらすらと話している。
A	多少つまるところはあっても発話に影響なく話している。
B	思い出すまで時間がかかる、または、ところどころ原稿を見て話している。
C	Bに達していない。（原稿を読んでいる。）